

2022年10月

ヘルスケア・インサイト、イノベーションとインパクト

10月は、景気後退への懸念から、投資家はインフレとFRBの利上げペースについて予想を引き下げました。

ヘルスケア・セクターは、市場全体を上回る上昇を示し、年初来、過去1年で見ても引き続きアウトパフォーマンスしています。

ヘルスケア・プロバイダー＆サービスは、新型コロナウイルスの症例数が低位に推移する一方で、新型コロナウイルス以外の症例数が徐々に増加していることから恩恵を受けました。

チャート1: 2022年10月31日付データ

チャート2: 2022年10月1日から2022年10月31日のデータ

出所: FactSet、米ドル建てリターン。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

市場インサイト

10月の株式市場は、S&P 500® 指数（トータルリターン）が8.10%上昇し、大幅に回復しましたが、年初来では17.70%の下落となりました。景気後退への懸念から、投資家はインフレとFRB（米連邦準備制度理事会）の利上げペースについて予想を引き下げました。経済指標は強弱まちまちとなりました。2022年7-9月期の経済成長率は2.6%（年率）で、雇用市場は依然として堅調に推移しました。しかし、住宅市場と製造業はともに減速しました。企業も業績見通しについてより悲観的な見方をするようになりました。FactSetはS&P500を構成する企業の収益（実績値と予想値のブレンド）見通しを+1.5%（前年同期比）に引き下げ、従来の予想と2022年4-6月期のペースを大幅に下回りました。ラッセル指数によると、小型株は大型株をアウトパフォーマンスしました。バリュー株は時価総額の規模に関わらずすべての市場においてグロース株を上回りました。

ラッセル3000®ヘルスケア指数で示されるヘルスケア・セクターは、市場全体を上回る上昇を示し、年初来、過去1年で見ても引き続きアウトパフォーマンスしています。業種別のパフォーマンスを見ると、ヘルスケア・プロバイダー＆サービスおよびバイオテクノロジーが最も好調で、2桁台の上昇となりました。ヘルスケア・プロバイダー＆サービスは、新型コロナウイルスの感染者数が低位に推移する一方で、新型コロナウイルス以外の患者数は徐々に増加していることから恩恵を受けました。バイオテクノロジー関連銘柄は、バイオジェンとエーザイによる画期的なアルツハイマー治療薬の承認など、最近注目を集めた医薬品の承認を支えに引き続き好調に推移しています。ヘルスケア・テクノロジーとライフサイエンス・ツール＆サービスは、相対的に低い上昇率となりました。病院や製薬大手とは対照的に、これらの業種の企業は従来のテクノロジー主導の成長株のように取引される傾向があり、現在の経済・金利環境下では苦戦を強いられています。

パフォーマンス・スナップショット

チャート1 トータルリターン

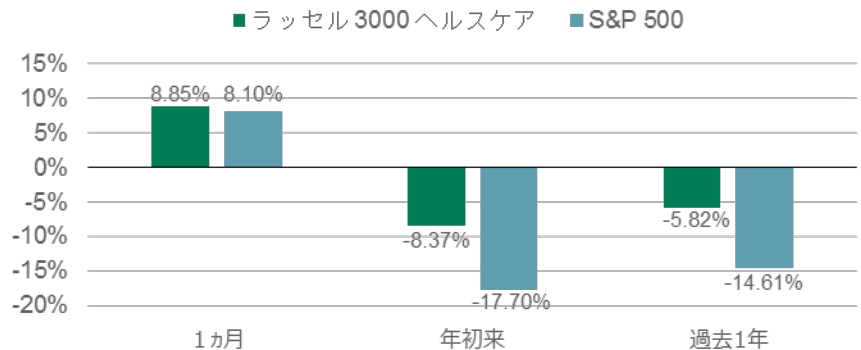
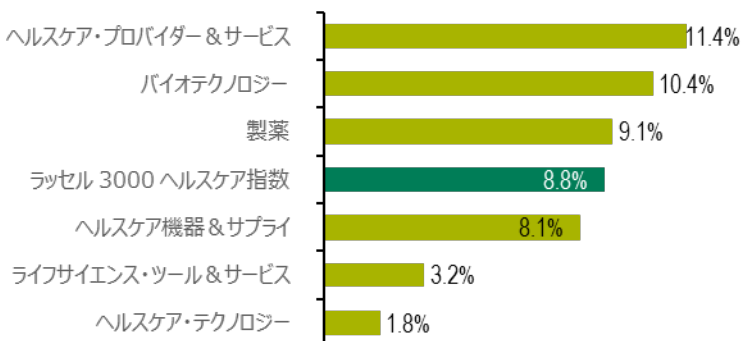


チャート2 業種別リターン



国連の 持続可能な 開発目標 (SDGs)



「健全な生活を確保し、あらゆる世代の健康を促進する」

インパクト・テーマ



癌を含む疾病の革新的な治療法



医薬品とサービスへのアクセス



医療費削減の新しいソリューション



機器、サービス、ソフトウェアの生産性向上

アメリカンセンチューリーESGトレンド・シグナル*は次の様に定義されています。

ポジティブ - 発行体の全体的なESGプロフィール、または特定のカテゴリーのパフォーマンスが過去3年間に改善している、または今後改善する見通しがある。

安定 - 発行体の全体的なESGプロフィール、または特定のカテゴリーのパフォーマンスが過去3年間に変化していない。

ネガティブ - 発行体の全体的なESGプロフィール、または特定のカテゴリーのパフォーマンスが過去3年間に悪化している、または今後悪化する見通しがある。

*ESGトレンド・シグナルは、発行体の全体的なESG評価と、E、S、Gの個々のカテゴリーのパフォーマンスの両方に適用されます。

持続可能な開発目標 (SDGs) は、国連総会によって設定された17のグローバル目標です。業界および政府のリーダーからなるグローバルチームによって開発され、193の加盟国すべてによって採用されました。SDGsには、世界で最も差し迫った問題のいくつかを2030年までに解決することを目指した17の目標と169のターゲットが含まれます。目標には、貧困の撲滅、環境資源への取り組み、ジェンダーと所得の平等の達成が含まれます。

アメリカンセンチューリーインベストメントの運用戦略の大半で、各ポートフォリオマネージャーが採用する投資プロセスにおいてESGを組み入れています。ポートフォリオマネージャーは、ESG (環境・社会・企業統治) 要因を投資戦略に組み込む際に、伝統的な財務分析では捉えることができない、これらの問題を考慮することになります。ポートフォリオマネージャーは、投資対象を選定する際に、ESG要因をポートフォリオの既存の資産クラス、時間ホライズン、投資目的に組み入れることとなります。そのため、ESG要因によりポートフォリオの投資機会が制限される可能性があります。ESG要因を組み込んでいない他のポートフォリオと比較して、パフォーマンスが異なってくる可能性があります。ポートフォリオマネージャーは、ESG問題がポートフォリオの保有銘柄にどのようなインパクトを与えるか、最終判断する権限を持ちます。ポートフォリオマネージャーの分析結果によっては、投資意思決定が、ESGに対する配慮の影響を受けない可能性もあります。

糖尿病治療における進歩から革命へ

この数ヶ月、糖尿病、アルツハイマー病、肥満などの治療薬における画期的な新薬開発について取り上げてきました。今日は、糖尿病関連の医療機器の進歩に焦点を当てます。

CDC (アメリカ疾病予防管理センター) の2022年全国糖尿病統計報告書によると、糖尿病はアメリカ人の11%が罹患している慢性疾患です。WHO (世界保健機関) は、全世界で5億人以上がこの病気に罹患していると推定しています。さらに、その罹患患者数は急速に増加し、2045年までにはおよそ7億8,000万人の成人が罹患すると予測されています。

しかし、糖尿病の脅威が増しているのと同時に、糖尿病を治療・管理するための治療薬や医療機器の分野も大きく変化しています。フィンガースティック血糖チェックと自己注射の組み合わせから、ウェアラブルで小型化された技術による完全統合・自動モニタリングと管理への進化など、私たちは、糖尿病をモニタリングし管理するための機器に革命が起きていると考えています。

また、インスリン投与方法についても、従来の注射から、ウェアラブル・チューブポンプや完全統合型チューブレスポンプ/モニターシステムへと大きな進歩が見られました。血糖値をモニターし管理するための人工膵臓を作成することは、これまででも技術的に期待されていましたが、これらの新しい技術はその夢の実現に向けて貢献しています。

毎日12回の指での血糖値チェックや、毎日何度もインスリンを自己注射することに比べて、どれほど画期的なことかを考えてみてください。CGM (持続血糖測定器) の進歩により、指に針を刺さなくても血糖値を測定できるようになりました。同時に、インスリンポンプ技術も急速に進化し、より多くの患者がCGMを使用することで恩恵を受けています。

次世代の統合されたシステムでは、CGMとインスリンポンプが相互に通信し、リアルタイムで患者のニーズに合わせて自動的にインスリンを供給することが可能となります。食事時には、ボタンに触れるだけで、患者の食事予定に応じた量のインスリンを投与することができます。

注目銘柄：インシュレット

インシュレットは、糖尿病治療に特化した革新的な企業です。オムニポッド®と呼ばれるインスリンポンプを開発し、患者の体に付着させてインスリンを持続的に投与する使い捨てのパッチポンプを提供しています。最新のオムニポッド5は、チューブポンプに比べてより優れた形態であると同時に、CGMセンサーと統合して患者のグルコース管理をより適切に行なうことができます。この技術革新により、糖尿病患者の健康状態が改善され、患者 (および介護者) の疾病管理の負担が軽減されるものと確信しています。

インスリンポンプは、疾病の新たな革新的治療法であるため、同社は社会的に大きなプラスの影響をもたらすと考えています。インシュレットは、グローバルで大規模な市場である糖尿病患者とその介護者のための治療法、治療へのアクセス、そして治療効果を向上させることを目指しています。私達のESG (環境・社会・企業統治) チームは、同社の株式の評価及びリスク評価を実施しました。チームは、同社のESGの質について全体的にポジティブで安定していると見ています。

著者



Michael Li, Ph.D.

シニア・ポートフォリオ・マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのVP及びシニア・ポートフォリオ・マネジャー。2002年に同社入社。それ以前は科学者及びプロジェクト・マネジャーとしてPharmaceutical Research Institute of Bristol-Myers Squibb Co. に勤務し、FDAに研究用新薬の申請を行なうなど、医薬品発見から開発まで、研究者をサポートする多機能チームの管理に従事した。中国科学技術大学で材料科学及びエンジニアリングの学士号取得、ペンシルベニア大学ウォートンスクールで経営学修士号、ミシガン大学で化学Ph.D.を取得。



Henry He, CFA

ポートフォリオ・マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ・マネジャー。前職はBNP Paribas Investment Partnersのシニア・エクイティ・リサーチ・アナリスト、及びポートフォリオ・マネジャーとしてヘルスケア及びバイオテクノロジーセクターの運用を担当。ハーバード大学で経済学士号取得。CFA®チャーターホルダー。



Kevin Lewis, CFA, CAIA

シニア・クライアント・ポートフォリオ・マネジャー

投資家と共に歩み、グローバルグロース株式市場に関するインサイトと展望を提供する。また、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ運用チームを代表して同社のグロース株投資哲学、投資プロセス、及びパフォーマンスを提供する。バージニア・テックでビジネス学士号取得。CFA®チャーターホルダー及びCAIA®チャーターホルダー。

過去のパフォーマンスは将来の投資成果を保証するものではありません。

ここに表明される意見は、アメリカン・センチュリー・インベストメンツの意見であり、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオの将来のパフォーマンスを保証するものではありません。この情報は参考情報の提供のみを目的としており、投資アドバイスを目的としたものではありません。特定の有価証券への言及は、説明目的のためのみであり、有価証券の購入または売却の推奨を意図したものではありません。提示された意見及び予想は当社の判断とその他のポートフォリオ・データを含んでおり、予告なしに変更されることがあります。

この情報は、個人的な推奨あるいは信任アドバイスを意図したのではなく、投資や会計、法律、税務アドバイスの判断に用いられるべきではありません。

日本の投資家向け：この資料は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されているいかなる有価証券やアドバイス、サービス、投資戦略、プロダクトの売買の勧誘を目的としたものではありません。この資料は米国外のリテール投資家を対象としています。この文書の内容は規制当局によって審査されていません。American Century Investment Management, Inc. は日本で登録されていません。

American Century Investment Management (Asia Pacific), Limitedは証券先物委員会（「SFC」）のタイプ1およびタイプ4の登録を保持しています。American Century Investment Management, Inc.はSFCに登録されていません。

American Century Investments®

4500 Main Street
Kansas City, MO 64111

330 Madison Avenue
New York, NY 10017

1665 Charleston Road
Mountain View, CA 94043

360E. 2nd St.
Los Angeles, CA 90071

2 Ice House Street
Hong Kong

12 Henrietta Street
London, WC2E 8LH

1 Farrer Place
Sydney, NSW 2000

Taunusanlage 8
60329 Frankfurt, Germany

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

2022年11月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%(税込み)》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用(信託報酬) 《上限2.222%(税込み)》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じたかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会